

ひまわり

2015年
8月31日
No. 1128

生活協同組合 あいコープふくしま
郡山市安積町日出山1-110-1
Tel 024-956-0011 Fax 024-956-0055
フリーコール 0120-910-408

- もくじ
- ① 庄内浜ツアー報告 ① 心地よい潮風、熱い砂浜、食べ放題のメロン・スイカ・だだちゃ豆...
 - ② 庄内浜ツアー報告 ② 一番素敵するのは人でしょ。小さな息子大喜び何回も海に。
 - ③ 庄内浜ツアー報告 ③ 大喜びの子も列車。これが根粒菌の土の固まり。ビオトープで...
 - ④ 庄内浜ツアー報告 ④ 月山パロットファーム相馬社長が語る。田んぼの生き物探し体験。
 - ⑤ 生産者からのお便り、便箋箱。8月3回ローカル品、測定安心シリーズ⑬署名支援金報告。
 - ⑥ 放牧パスタちゃんシリーズ⑫、⑯3倍。思い出は残るお盆、「がまんせ他」「毎心地の数値」
 - ⑦ ~⑩ ローカル商品のご案内、ナチュラルカード。私の注文品を空きメモ。

ローカル商品のご案内（9月3回）はうしろのページからです ホームページ <http://icoop-fukushima.jp> CO・OP共済に関するお問合せは、フリーダイヤル 0120-212-107

庄内浜ツアー報告① 心地よい潮風、熱い砂浜

食べ放題のメロン、だだちゃ豆、ぬるぬるした田んぼの泥



“五感が冴える”ツアー

《庄内浜・由良海岸（8月1日）》

初めての庄内浜ツアー。心地よい潮風、熱い砂浜、おかわり放題スイカにメロンにだだちゃ豆、ぬるぬるとした田んぼの泥水など五感が冴える刺激的な2泊3日の旅。月山、庄内生産者の皆様の温かさは歓待、理事長さん、星さんははじめあいコープの方々のきめ細やかさに対応に感激。初めての母と子4人旅でしたが、他家族の方々がいろいろな場面で助けて下さり、私も子どもも実験いっぱいの3日間でした。ありがとうございました。また会いましょう！（福島市）

うれでりじょうさんか
いいといいところまで
つれていくて
うれしかったです。
(小1)

初めての庄内浜ツアー。一番わいたいのは海です。
りじょうさんとはじめてぶかいところへいったことが一番心に
のこっています。また、メロンもスイカもおいしかったです。
(小3)

ほしゃんおもしろかった。（年中）

旦那が、あいコープ イイね！と!!

とても楽しめた庄内浜ツアー。他の家族の方と仲良くできるかな??
子供達ははじめるかよ? 不安がたくさんありました。今まで一番やまと
思えるくらい、とても楽しめたです。だだちゃ豆の収穫では、初めての火照と
初めての枝豆だったので子供達は興味津々で取り組んでいました。
あの暑い中で作業されているんだね...と思うと、食べ物を大切に食べよう。
粗末にしちゃいけないよ...と感じることができました。

バスの中で...と車をやめの場所で...温かく接してくれて皆さん。
あいコープのスタッフの皆さん...本当に感謝しています。

ジャンクな食べ物が大好きだ旦那。あいコープってなん? どうせいつも
ムダづかいでしょう?? と言っていた旦那。ツアーに来て下さりありがとうございました。
あいコープイイね。と言ってくれました。すばらしかったです！

（郡山市）



①

庄内浜ツアーレポート② 一番素敵のは、人でした

今回は庄内浜ツアーレポートになりました。温かく迎えてくださる庄内協同ファーム、月山パイロットファームの皆さん、子どもたちを生協孫と可愛がってくださる理事長さん、保育士さながらに子どもたちと遊んでくださるあいコープ職員のお兄さん方、皆さんに支えていただき、ここでしか味わえない貴重な3日間を過ごすことができました。

海も水族館も素敵な山形でしたが、一番素敵のは人でした。震災後せつない思いをしている私たちのことを知り、ずっと福島の人たちを応援しようと心に決めたと庄内協同ファームの舟越さんがお話してくださいました。おかげり、その言葉が本当にうれしかったです。

収穫体験の際お聞きした月山パイロットファームの相馬社長のお話も大変印象深かったです。次世代のことを考えた農業。「農薬を使っても使わなくても残留農薬はほとんどない…でも、田畠への影響が全く違う。だから次世代のために農薬を使わない…」農薬を使うのが当たり前だった一昔前には周りからきちがい扱いされたそうですが、それでも次世代のためにとその考え方を貫いてくださった相馬社長には、感謝の気持ちでいっぱいです。

相馬社長のお話を聞き、次世代のためにという考え方私には薄かったなと反省しました。次世代のために私に何ができるのか考えましたが、私にできるのは、今までしてきた石鹼生活と、自分の子どもを次世代のことを考えられる人に育てることなのかなと思いました。

今回もいろいろ教えていただいたツアーレポートでした。本当にありがとうございました。

(郡山市)

心地よい海風や波にゆられて。

家族4人で初めて庄内浜ツアーレポートに参加させて頂きました。海水浴は初めての娘たち。プールレジャーハウスに遊びながら、海の水や海藻にびくびくしていましたが、心地よい海風や波にゆられて、夢中になつて遊ぶようになりました。個人的には生産者の方との交流会や相馬社長の農薬を減らす・使わない取組みについてのお話が印象的でした。田畠の生態系を守ることで、環境への負荷を減らし、子供たちのため、食の安全を未来につなげたいとの熱意の二点にお話、

小3と3才の息子、大喜びで何回も海に。

今回のツアーレポートは、3年生と3才の息子2人と私が参加しました。はじめは海におかねばっかりの子供達も2日目になると大喜びで何回も海に入っていました。白山島を一周したり、ヤドカリをつかまえたりと親子で楽しめました。そして海で食べたメロンやスイカやトマトや豆のおいしさ、など、お昼に食べた「菜あ」さんの弁当もとてもおいしかったです。たまたま豆の収穫体験では子供達が一斤懲命ひっそ抜いた豆をその場で、大鍋で煮て食べさせてもらいました。さらにサトウが大喜びたのは、相馬社長のお宅の庭にある手作り(!!)の汽車に乗せてもらえたことです。田んぼの生き物観察では泥の中にいたり、カエルをとったり、ザリガニをつかまえたり、暑さを忘れて夢中になっていました。この3日間は、普段できない貴重な体験をさせて顶いて本当に楽しかったです。庄内浜ツアーレポートを支えて下さった皆様に感謝します。ありがとうございました。

(郡山市)

ばくが一番楽しかったのは、由良海岸で遊びだすことです。友だちにねねた国分こうじくんとたけるくんとなつきちゃんと一緒にしたり、いそ遊びをして、やどりきはいっぱいとやたけど、力にはあはしゃくて一匹もつかまえられなかっただけ。でもすごく楽しかったです。たまたま豆の収穫かくたいけんでもワ本くらいれた豆がとれたので楽しかったです。今回のツアーレポートにさんかで見て、あくまでです。(8才)

たのしかったこと。
海でおいしいこと、ヤドカリをとったこと
くらげの水族館、たまたま豆の
しゃくわく、汽車に乗ったこと。です。

おいしかったもの。
たまたま豆とスイカとメロンです。

(3才)

炎天下の農作業を実感！ 食事も残さず、一回り大きいくらい。

7/31～8/2の庄内浜ツアーレポート、3年ぶりに今日は事務局として参加しました。今年も庄内協同ファームさん、月山パイロットファームの皆さんの大歓迎を受け、太陽がぶり注ぐ熱い砂浜で、汗でもかといひほど、冷たいメロンやスイカ、トマトや豆をいたゞきました。最終日には月山パイロットファームさんの火屋にて、たまたま豆の収穫体験をさせて頂き、猛暑の中、その場で茹でて頂いたたまたま豆の味は格別でした。子どもたちは炎天下での農作業の大変さを実感したのか、ツアーカラム帰宅から、食事を残さず食べるようになりました。庄内協同ファームさんに案内して頂いたビオトープでは、長男が今まで触れたことがないザリガニなどの生き物に触れたと、大喜びしていました。バスを降りる頃にはみんな一回り大きくなつた長男がいます。

(郡山市)

とても感動しました。これからも商品の購入という形で微力ではありますが応援していくたいと思います。最後になりましたが、温かく迎えて頂きました庄内の生産者の皆様、あいコープの理事長はじめスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

(伊達市)

庄内浜ツアー報告③



《熱く語る相馬社長》

「こひが根粒菌の土の固まり」

大喜びの
子ども列車



《ビオトープの生き物のお話。》

《庄内協同ファーム 佐藤和則さん》

「ビオトープ アメリカザリガニ 捕まえた!」



《庄内協同ファーム代表 小野寺さんが扱い方を教えてます。》



《農機具のエンジンで
相馬さん屋敷を一周 =3》

《列車を作った先代・相馬さんと
運転してくれたお孫さん》



庄内発ツアーレポート④ 月山パイロットファーム・相馬社長が語る

有機栽培では草取りが一番大変。

庄内地方は、月山の水・最上川の水・鳥海山の水のおかげで水にはほとんど苦労しない。豊富で良質な水で栽培することでおいしい米が育ち、米どころになっている。そんな土地柄でも、場所によっては水の便があまり良くない所があって、そういうところでは昔から枝豆や民田ナスなどが作られてきた。

父親の代から農薬や化学肥料を使わないで農作物を作るようになつたが、有機栽培で一番大変なのは草取り。今でこそ有機栽培や減農薬栽培などが知られるようになってきたが、当時は農薬を使うのが当たり前だったので周りの人から変人扱いされた。

農薬を使うことで、人間が食べる時点での残留性という点ではほとんど影響は無いが、土地、更に川や海が汚染され、作物以外の動植物や、自然環境に大きな影響を与えるので自分は使用したくない。今使っている人も徐々に使用量を減らして、いずれ使わなくなつていけば良いと考えている。子どもたちの明るい未来を守るためにも自分たちが自然環境への負荷を考えた農業をしていかなければいけない。

ついでに、この村から月山パイロットファームへの移動中に
相馬社長のお話を伺い、要約しました。（あいコープ星博之）

田んぼの生き物探し体験

教えてくれたのは 庄内協同ファーム・佐藤和則さん。

ビオトープ（有機田んぼ周囲の浅い水路）
で確認できたり生き生物

アメンド・アマガエル・ドジョウ・メダカ・モロコ・ヒル・カワニナ
タニシ・モリアラ貝・アメリカザリガニ・カワエビ・ナミ

有機栽培の田んぼで確認できたり植物
アオウキクサ・クログワイ・オモダカ・セリ・ナミ

根に白く小さな粒（根粒菌）が“健康”

* 農薬・化学肥料ではあまり付かない

30年ほど前に、付き合いのあった東京の生協で“だだちゃ豆”的取り扱いが始まった。それまで認知度が低かったが、その生協の組合員さんがFMラジオのDJをしていて、放送で“おいしい！”と紹介してくれたことから有名になった。“だだちゃ豆”が有名になったのは月山パイロットファームがあったからかも。（笑）

一般的な枝豆（有名な丹波の黒豆も）はしっかり茹でないとおいしくないが、“だだちゃ豆”は大豆の中でも特別な品種で、茹ですぎるとおいしくない。短時間（沸騰したお湯に入れて再沸騰1分）で茹でてすぐに冷水にさらし、冷やして食べた方がおいしい。一口に“だだちゃ豆”といつても品種の系統が大きく分けて3種類あり、更に名前のついている品種だけでも80種類以上にもなっている。農家には自分の家それぞれに門外不出の種があつて、代々その種を受け継いで栽培しているので、家によって豆の味が違う。

豆類の根っこには根粒菌が存在していて、健康で状態が良い“だだちゃ豆”は根に白くて小さな粒がたくさん付いて引き抜くのに50kgくらいの力が必要になるが、農薬や化学肥料を使用するとあまり付かない。月山パイロットファームの畑で根っこを確認してみてください。⇒根っこに根粒菌がたくさん付いていて引き抜くのが大変だった。

水草は水がきれいだから増えてる～環境に負荷をかけない農業～

月山パイロットファームの相馬社長が、田んぼの水面にアオウキクサが大量に滋生しているのを見て感じて、佳苗夫人を近くに呼んで「この水草は本当に水がきれいではないといふにたくさんの増えないんだよ」と説明していく。メダカ・カワニナ・モリアラ貝・カワエビなど、水がきれいな戸でないとい生息できない生物が確認できた。また、アオウキクサ・セリなどの植物も同様。田んぼの畔は事前に草刈りしていたので雑草はきれいに刈られていたが、田んぼの中は稻と一緒に様々な雑草が勢いよく育っていた。あれほど多くの雑草が生えているのは初めて見たが有機栽培田ならばこの状況なのだだと感じた。個人的にはクログワイとオモダカという植物を初めて見た。オモダカは家紋や歌舞伎の澤瀉屋で名前は知っていたが、実際の植物を見ることができて勉強によって良かった。

水辺の生き物や植物を通して、自然環境に負荷をかけない農業の取組みの実践例を学びながら出来た。今回、小学生未満の小さい子供の参加も多かったので『学び舎』という点では次回は小学生中・高学年くらいの子どもも多く参加できたら良いと思う。（あいコープふくしま 星博之）

*生産者からのお便り

8月13日の雨は“伍千金”

8月13日朝からの雨はまことに値千金の恵みの雨でした。3週続けて人参の話になりますが、20日前種を蒔いたが水不足と高温で種の発芽能力が無くなつたのではないかと考え、蒔き直しをしたところに雨が降りました。前回お届けのトウモロコシは水分不足で味がいまいちでしたが、今回の場合は良くなっています。しかし、高温で受精がうまくいかず、実がかけているものがあります。皮を剥いてのお届けではないので、中身が見えず食べることが出来ない状態のが入っている時があります。その時は遠慮なくお知らせください。

石沢 重吉

ローカル品
000503 愛菜箱 905円
(税別)

無農薬野菜づくり農業会グループの提供。
品目・量目は、畠の収穫量に合わせて
生産者が箱にセットします。

④ ビジネスの参考に

8月3回お届け品。
・トマト 400g ・トウモロコシ 2本
・きゅうり 3本 ・ナス 1袋
・ピーマン 1袋

8月4回予定品。
・枝豆
・きゅうり
・ナス
・ピーマン

8月3回ローカル商品
注文数 20ヶ以上。

| 商品名 | 供給数量 |
|----------------|------|
| ミニトマト ちびあま | 264 |
| ブルームきゅうり5本 | 226 |
| 大玉トマト(重カトマト) | 163 |
| 地元のなす | 156 |
| 夏人参(洗い) | 104 |
| 満点! あおばちゃん6切 | 89 |
| 中玉トマト ララフルティカ | 82 |
| 地元のピーマン徳用 | 81 |
| いちごとまと | 40 |
| 野菜セット「愛菜箱」 | 39 |
| 三陸唐桑 生わかめ(茎付き) | 30 |
| 生芋板こんにゃく | 29 |
| 満点! あおばちゃん8切 | 28 |
| 生芋糸こんにゃく | 28 |
| 純米 あま酒 | 28 |
| リキッド アイスコーヒー | 23 |
| 板こんにゃく1/2×2 | 21 |

計 20,445円

(5)

原発事故による 浪江町強制避難者支援
本宮市仮設住居者 65戸へ

8月3回 愛菜箱の5% 1,764円

8月1回までの残高 18,681円

測って安心・測って対処 ~ 家庭菜園・もらしいもの測定 135

梅、やはり「不検出」(大玉村)

2015年

単位:ベクレル/kg

| 測定日 | 場所 | 品目 | 量目 | 結果 cs137/cs134 | 検出下限値 cs137/cs134 | 測定時間 |
|------|--------|----------|------|-------------------|----------------------|----------------|
| 8月5日 | 大玉村 | 梅(種核付) | 630g | ○/○ | 3.91/3.11 (1H) | 3600S (1H) |
| 8月6日 | 郡山市富久山 | みづか(除葉葉) | 120g | ○/○ | 13.1/10.3 (6H) | 21600S (6H) |

国連本部へ6727筆集約

(あいこーじふくしま分)

署名活動の協力に
感謝します。

《7月31日～8月5日 集約》

あぶくま養護学校
NPO子育てココネットマム
渡邊実奈子 様(いやき)
あいこーじやき(宮城)
一の宮生協(福島)
コープ自然派(京都)

てとてと会(郡山市)
橋本 副理事長
鶴藤 理事
古川 様(中2年)
仲野 様

18代 高校生平和大使・鶴藤 さん(福島市高校2年)他、全国で22名の
平和大使に核兵器廃絶を訴える署名を託します⇒
8月18日 国連欧洲本部(ジュネーブ市)に届けました! ⇒

未来につなぐ 支援金に感謝します(8月1回)

報告交流会
を開催します!!

9月23日(祝・水)

午前 9:45～12時
郡山市中央公民館にて
お申込みは 9月11日(金)まで
中・高生大歓迎!!

| | | |
|---|---|----------|
| 様 | 様 | (6名) |
| 様 | 様 | (7,000円) |
| 様 | 様 | (2名) |
| 様 | 様 | (1,000円) |

決まり
(7月5日までは)
8月1回
合計
282,500円 + 8,000円 = 290,500円

+ 1冊 (5冊入り) あります

放牧パスちゃんシリーズ⑫

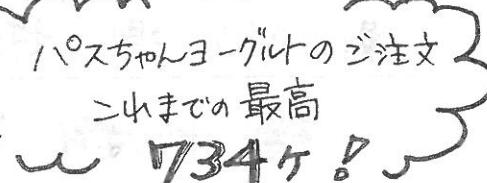
「時短、增量、コラボ」

パスちゃんヨーグルト + 花見糖 + 生クリーム

ひまわり(8月1回、8月3回)で紹介した「パスちゃんアイス」。

生クリーム200ml: パスちゃんヨーグルト300ml~400mlの方が濃すぎずいい感じ!

という声も。



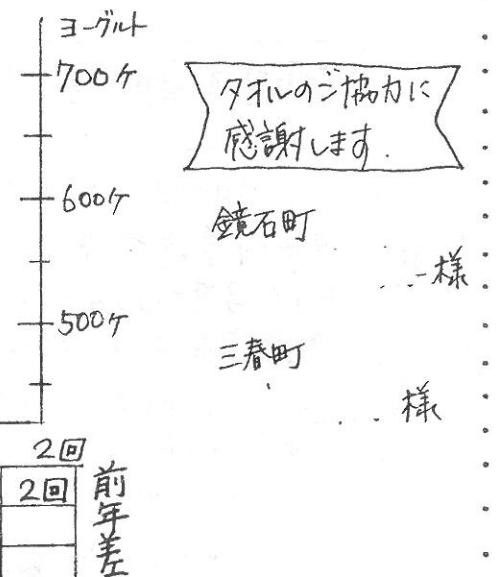
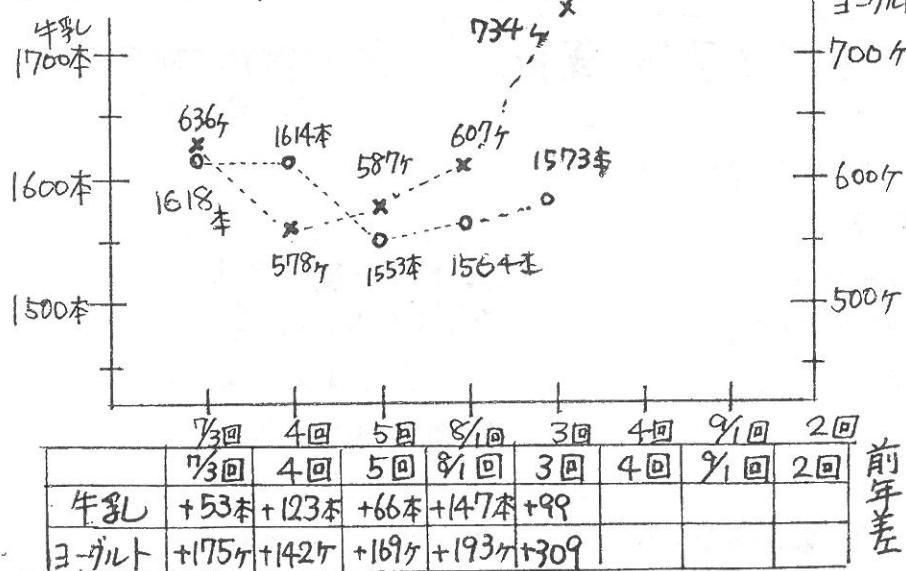
パスちゃんヨーグルトの注文
ニホまでの最高

734ヶ!

(昨年より309ヶも増加)

皆さんのが作って
食べた感想・レシピを
ぜひ教えて下さい♪

放牧パスちゃん牛乳・ヨーグルト 利用数



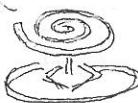
12日には、お盆休みの中 ゆざわさ
国産花火の配達を ありがとうございました。

おかげさまで 孫達と、15日の夜、楽しむことができました。

生協さんのやさしい おニコづかいときやいは花火が

思い出に残るお盆とになりました。

本当にありがとうございました。



田村市

(社母)

(社母)

⑥

「安心値」ではなく「がまんさせ値」です。

いつもお世話になっております。あいコープふくしまは、本当に信頼できるな~と思っています。でも、放射線取扱責任者免許を持つ者として、またベラルーシの学校状況を知る者(看護師免許・養護教諭免許を持つ者)として、2点、伝えさせてください。

1点は、ひまわりNo.1118の②Q&Aのウ)に、「年間1mSv未満」が安心値とすれば…と書かれています。安心値と受け取れるよう政府も県も市も広報していると思いますが、これは全く安心とは言えません。これは流通への影響を考えた「がまんさせ値」なのです。国際基準からもベラルーシの基準も内部被爆だけで年間1mSvではなく「外部被爆・内部被爆合わせて1mSv/年」です。

2点めは、岩瀬牧場での農業体験についてです。福島市の畑や千葉の土を測定しましたら、なんと3000 β g/kgありました。国の法律「放射線障害防止法31条」には「何人も18歳未満の者に放射性物質で汚染されたものを取り扱わせてはならない」とあります。培土の基準は400 β g/kgです。畑の土は測りましたか?

心配しすぎず 安心しすぎず「たしかな」放射線防護を!

(福島市)

「安心感のもてる数値」がプラス

1点目の「ひまわり」は、「ふきの測定値 8.8ベクレル/kg」を食べた場合の説明です。この結論として、年間1mSv未満であり、(主食でもなく)安心して食べて良い数値です。それが、「安心値」の表現でした。これは、あいコープ4年間の活動から生まれた「測って安心、測って対処」です。「がまん値」というストレスを背負うような言葉よりも「安心値」の方が健康上プラスかと思います。

もちろん、放射能の絶対的な安全はないこと、すなわち「しきい値」はないことは当然です。しかし測定数値を知り、その健康に与える影響を話し合うことで、なんとなくの不安感や「がまん値」の認識から「安心感のもてる数値」の理解へ変わってきたわけです。

しかしながら、「絶対的な安全」はないわけですから、体の防衛力(免疫力)を高めること、そして放射能以外のリスク(添加物、農業化学物質など)を限りなく少なくする総合的なリスクの減少と、健康力のアップを確認してきました。

内部被爆測定のWBC測定でも、微量の放射能物質の数値は「健康上からは安心できる数値ですが、食生活の改善を考えましょう」との会話をしております。組合員との話し合いを含めて「安心値(できる数値)」を使っております。

2点目の岩瀬牧場の土壤についてです。今年3月の測定では「検出下限値10ベクレル/kg」で「不検出」でした。これは安心できる数値と考えます。

しかし、放射能の受け止めは個々人で違いがあり、400ベクレル/kgでもがまんできない方もおられます。1点目の話と同様にその数値が年間線量として、免疫力、ストレスを含めた健康全体としてどう考えるのかの話し合いが大切と考えています。この福島で安心して暮らすには、ある断片や一部ではなく、24時間、365日の総量と健康を考えた食と生活全体を考える、すなわち「生協生活の充実」を改めて問われているように思いました。

(あいコープふくしま 佐藤孝之)